



釣りのルーツは 人間のDNAに繋がる



(尾張南支部)
豊田ケミカルエンジニアリング
株式会社
資源環境事業本部 営業部 部長
渡辺 勝広 さん

知多半島の工業地帯にある会社に伺うと、ガラス張りの明るいロビーに会社紹介のビデオがモニターに流れ、壁には企業理念や環境方針が掲げられている。会社全体で環境に取り組む姿勢を拝見していると、今回お話しを伺った豊田ケミカルエンジニアリング株式会社 資源環境事業本部 営業部部長 渡辺勝広氏がいらっしゃった。

自然の中にお邪魔して

趣味は釣りと同じでしたが、どんな釣りですか？

渡辺 私がやっているのは、釣りとっても海ではなく、渓流でのあまご釣りです。

渓流というと、流れのあるかなり上流というイメージですが。

渡辺 渓流といってもいろいろありますが、私がよく行くところは林道に車を停めて、岩場のような所を降りていくような場所です。川に降りると周りには大自然、聞こえてくる音は風と水の流れ、時折聞こえてくる鳥の声くらいです。私はほとんど一人で釣りに行くので、自然の中に私がお邪魔しているという感覚です。

まさに大自然ですね。

渡辺 何かで読んだんですが、川の流れる音は人間の血液の流れる音とリズムが同じなので、人は癒されるそうです。

自然に抱かれるという感覚なんですね。そんな癒しの環境の中での釣りは、もうキャリアは長いんですか？

渡辺 10年くらいになります。子どもの頃、近所の川で遊びの釣りはし

ていましたが、本格的に始めたのは10年くらい前です。

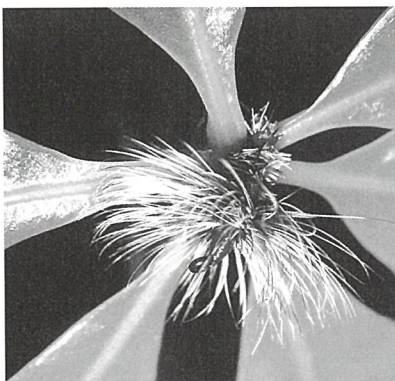
テンカラとの出会いは テレビ？

始めるきっかけは何だったんですか？

渡辺 ある時テレビであまご釣りの特集を見て「おもしろそうだな」と思ったのがきっかけでした。

まわりにやっている人がいたとかではなく、テレビを見てですか？ そうすると最初は手探りですね。

渡辺 私が興味を持った「テンカラ」という釣りは、あまり人口が多くないんです、ですから自分で本やビデオを見て研究しました。テンカラで使う釣り糸は非常に細くて軽いですから、なかなか思ったところに飛ば





ないんです。狙ったところに針が飛ぶように、公園でバケツを置いて投げる練習もしましたよ。それでも、始めて1年くらいは全く釣れませんでした。

「テンカラ」という釣り方法は初めて聞きましたが、どんな方法なんですか？

渡辺 テンカラは非常に古くからおこなわれている釣り方法で、古い記録としては1678年頃に書かれた「京雀後追」という書物に、京都で毛バリが商品として売られていたことが記されています。しかし、その毛バリは鮎用の毛バリで、すでに溪流でアマゴやイワナを釣る毛バリ釣りはあったそうですから、かなり歴史があります。それに昔は、山間部のタンパク源確保のための職漁師による漁だったそうです。

古くから伝わっているものなんですかね。こちらの写真が毛バリですか？

渡辺 そうです。これは私が作りました。

毛バリも手造りなんですね。

渡辺 もちろん市販されているものもありますが、私は自分で作ります。統計を取ったわけではありませんが、自分で作った物の方がよく釣れ

る気がします。

その他、釣り方にも特徴があるんですか？

渡辺 そうですね、テンカラはあまごのいそうなところに目標を定め、そこに針を落とします。うまく投げると針が水に落ちた瞬間に、あまごが飛びついてくることもあります。しかし、あまごは非常にデリケートな魚ですから、一度狙いを外して音を立てると、その場所には戻ってきません。一投、一投が勝負です。一か所で2、3回投げてダメならば移動しますから、ほとんどじっとしていることはありません。

川の流れの中を動き続けるのは、かなり大変なようですね。

渡辺 確かに足場も悪く、流れの中を歩き、投げ続けるのはハードですが、釣り始めると食事も忘れて熱中してしまうこともあります。

狩猟本能がめざめる

食事も忘れてしまうほどの魅力は何ですか？

渡辺 あの釣り上げた時の感触でしょうか、言葉で表現するのは難しいのですが…。初めて釣れた時の感覚は忘れられません。

感覚…なんですね。

渡辺 テンカラは魚が来るのを待つのではなく、攻めの釣りですから狩猟本能を刺激されます。五感をフルに使って、あまご、自然と向かい合

う。原始人になった気持ちになります(笑)。

原始人ですか。DNAに記憶されたロマンですね。そうすると釣果はやはり召し上がる？

渡辺 いいえ。そこは少し違っていて、キャッチアンドリリース、逃がしています。ただ先ほども言ったように、あまごはデリケートで体温も低い魚ですから、素手で触ったりすると弱ってしまいます。弱ったあまごを川に返してもいけないので、できるだけ直接接触らず、針だけを抜いて放すように気をつけています。

自然との共存ですね。

渡辺 共存はいいんですが、私が釣りに行く場所のあたりに、一昨年くらいから「熊出没注意」の看板が立ったんです。それに、熊の目撃情報が入ると有線放送されるので、その時はさすがに帰ってきます(笑)。

すごい環境の中でのご趣味ですね(笑)。どうぞ今後ともお気を付けいただき、大自然の中、太古にロマンを馳せながらテンカラをお楽しみください。今日はありがとうございました。

